



ローランド筆頭株主が保有株式を売却 2022年1月の大量保有報告書



M&A

Online編集部が大量保有データベースで2022年1月の大量保有報告書などの提出状況を調べたところ、電子楽器を手がけるローランドの筆頭株主であるタイヨウ・ジュピター・ホールディングス・ジーピー・エルティディーが、ミネルバ・グロス・パートナーズ（東京都港区）が運営するミネルバ・マネジメント・インクに保有株式を売却し、保有割合が50%を割り込んだことが分かった。

大量保有報告書データベース 2022年1月の大量保有報告書提出状況はこちら

キャピタル・リサーチも買い増し

タイヨウ・ジュピター・ホールディングスの新たな保有割合は34.77%と下がるものの筆頭株主の地位は変わらない。15.0%を新規保有したミネルバ・マネジメント・インクは、ローランド株を長期保有する予定で、保有の理由を「純投資及び重要提案行為等を行うこと」としている。

ローランド株については、米国の投資顧問会社のキャピタル・リサーチ・アンド・マネージメント・カンパニーも1.3%買い増し、保有割合を6.72%に高めた。

ENEOSがNIPPO株を買い増し

ENEOSホールディングスと米ゴールドマン・サックス・グループが共同で設立した特別目的会社のロードマップ・ホールディングスが、ENEOSホールディングスと共同で、道路舗装大手のNIPPO株を35.77%買い増し、保有割合を92.63%に高めた。

ENEOSホールディングスは親子上場解消のため、NIPPOに対してTOB（株式公開買い付け）を実施すると発表していた。

このほかにキャンドゥを傘下に収めたイオンが、さらに0.15%買い増し、保有割合を48.7%に高めたほか、ソフトバンクグループ株を29.02%保有する孫正義氏が「担保契約等重要な契約の変更」を理由に変更報告書を提出した。

2022年1月の大量保有報告書の提出件数は999件で、このうち保有割合を増やしたのが293件、新規保有が175件、保有割合を減らしたのが430件、契約の変更などが101件だった。

文：M&A Online編集部

大量保有報告書データベース 2022年1月の大量保有報告書提出状況はこちら